認知症カフェ「ひとよこい」

第２・第４木曜日に開催

認知症カフェとは認知症の人が自分らしく暮らしていくことができるように、家族、地域住民、専門職等の誰もが参加でき、気軽に話をしたり、相談したりできる場所です。

認知症カフェ「ひとよこい」は、小国郷に住む方々が気軽に集えて、お茶を飲みながらゆったりとお話しができるような場所を作りたいという想いから、小国郷医療福祉あんしんネットワーク参加事業所が協力して、平成27年6月に小国公立病院の旧院長宅をお借りしてオープンしました。

お話しだけでなく、開催日の午後2時からは認知症カフェスタッフによる、認知症のことをわかりやすく知ることができる劇や、定期的に演奏会やアロマテラピーイベントの開催も行っています。

開催日は毎月第２・第４木曜日の午後1時から3時。場所は小国調剤薬局横の旧院長宅です。

皆様のご来店心よりお待ちしております。

講演会・出前ミニ講座

１ヶ月に3〜4回開催

小国郷も少子高齢化が進み、安心できる日々の生活を保つため、どの様にしていけばよいか真剣に考える必要性が求められてきています。

特に、医療・福祉・介護・の問題や、安心できる暮らしのための、防災・防犯・生活支援などといった問題に関して、身近な、情報・連絡などをお伝えし、ご意見・ご要望・疑問等にお応えできるようにこちらから出向いてお知らせしていこうと思っています。

その為、講演・講座の内容としては、医療・福祉・介護・に直接携わっている専門家・いろいろな施設・組織・団体の紹介、また、日々の生活の安心を確保するために、防犯・防災・交通等についても、警察署や関係組織や民生委員の方々の協力により、担当者が出向き、わかりやすく、お答えしたいと思います。

時間・場所は小国郷内各地区の集会場・公民館等で行われている、サロン・ミニデイサービスの時間をお借りして、ネットワークのメンバーで協力できる方を募り、簡単なテーマの話や実技・説明等を行いますので、質問・疑問等いろいろな相談の場として活用いただければ幸いです。

毎月、3〜４回程行う予定です。講演・座談会のテーマとして希望される内容等がございましたら、何でも結構ですので、事務局あてにお知らせください。

南小国町の老人クラブ宿泊研修会にて
「高齢者のお口の健康」 @南小国町りんどうヶ丘小学校

小国郷医療福祉あんしんネットワーク

オレンジリングは認知症サポーターのシンボルです。

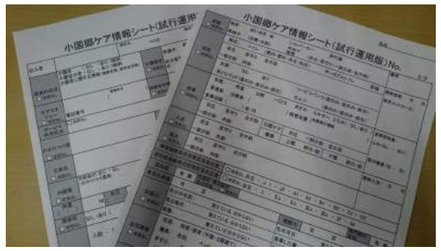
小国郷の医療と介護の連携の取り組み
〜 小国郷ケア情報シート 〜

連携事業

小国郷医療福祉あんしんネットワークでは、小国郷の医療・介護・福祉の連携をより円滑に行うために「小国郷ケア情報シート」を作成しました。

＜対象者＞
介護サービスと障害福祉サービスを利用されている方など

＜共有する情報＞
生活状況、身体状況、かかりつけ医や薬剤などの医療情報、入院中や施設または在宅生活の経過など



＜小国郷ケア情報シートを利するメリット＞
- 生活状況など同じ説明を関係者ごとにせずに済む。
- 退院に向けた支援を効果的に受けることができる。
- 医療と介護に携わる専門職同士の連携が円滑になるため、入退院時など生活の場が変わる時に、医療・介護・福祉サービスを切れ目無く利用することができる。
- 介護関係職種が入院中の経過や状況を共有することで、退院後に、より質の高いケアを受けることができる。

小国郷の皆様が小国郷で安心して暮らせるように、小国郷ケア情報シートを使用していきますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

※小国郷ケア情報シートで知り得た個人情報は、医療・介護・福祉の連携目的の範囲内で行い、それ以外の目的では使用いたしません。

事例検討会

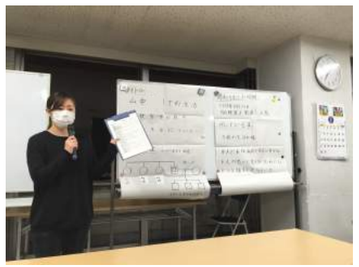
３ヶ月に１回開催

少子高齢化が進んでくると、医療・介護の現場でご本人やご家族にとって対応が難しい事が増えてきます。

そういう問題を町全体で包括的に解決していく為に、小国郷医療福祉あんしんネットワークでは、３ヶ月に１度のペースで事例検討会を行っています。

対応の難しい事例について提示し、多職種がそれぞれの意見・疑問を交換することで、個々の事例の問題点を多角的に洗い出し、解決に向けた新たなアプローチが見出されます。

事例検討会は、個々の事例の検討を重ねる事により、地域の問題点を掘り起こし、この「地域課題」を解決する政策に結びつけていく事が大きな目的となります。



小国郷医療福祉
ネットワークハンドブック

編集・発刊

小国郷内の医療介護事業所のサービス内容や連絡先などが記載された「使ってあんしん　小国郷医療福祉ネットワークハンドブック」を作成しました。

医療や介護施設などの連絡先がすぐにわかるようになっています。

あんしんネットワークのホームページでも冊子と同じ内容をみることができます。

小国郷医療福祉あんしんネットワーク
ホームページ・facebookページ

小国　あんしん　検索

事務局 E-mail: office@oguni-anshin.net

小国郷医療福祉あんしんネットワーク通信

ほっとオレンジ

Vol.1
平成28年4月1日発行

「小国郷医療福祉あんしんネットワーク」とは

小国町と南小国町は小国郷といわれ、古くから住民のつながりの強い地域です。医療介護の面でも、小国郷では小国公立病院を中心として、ひとつの圏域を作っています。

しかし、小国郷の医師数は、急速に進行した少子高齢化を支えるためには、十分ではありません。病院に限らない医療系従事者、福祉・介護関係事業所と医師・病院が連携をとり、医師不足を補う試みが必要です。また、退院後の生活を続けるためには、民生委員をはじめ地域の住民の見守りやボランティアなどの支援も必要となります。

これらの地域の課題を共有するために、小国郷の医療・福祉・介護の多職種が集まり、平成26年2月に「小国郷医療福祉あんしんネットワーク」が発足しました。

住民のみなさんが、住み慣れた地域で安心して暮らせるように、専門職や福祉関係者、行政がつながり、住民の理解と協力を得ながら地域のさまざまな課題を解決していく「地域包括ケアシステム」の構築をめざして活動しています。

今回の「ほっとオレンジ」では、あんしんネットワークが発足してこの２年間に行ってきた取り組みをお知らせいたします。

暮らしてあんしんの小国郷を考えるフォーラム

主催事業

平成27年2月22日　JA阿蘇小国郷

講演は「地域で守り育てる地域の医療」と題し、自治医科大学地域医療学センター長の梶井英治先生が、「地域が一丸となって支える医療。お互い様という気持ち。住民の健康問題のみならず、その人が生きてきた暮らしに注目して、医療、福祉、介護等がつながり地域包括ケアシステムを作っていかなければならない。みんなの活動がひとを元気にし、まちを元気にします。地域医療づくりはまちづくりそのものです」と話されました。

また、フォーラムでは玉名地域保健医療センターの前田圭介先生がファシリテーターを務め、パネラーには小国郷の医療福祉関係者や住民が壇上にあがり、それぞれの立場から、現状や問題点などを話されました。

オープニングでは、ステージショー「さあ！こしらえて外にでかけよう」、小国郷の高齢者が、ちょっとおしゃれしてステージ上をウォーキング。もちろん車いすでの登場もあり、和やかな晴れやかなひとときでした。

同時に会場では、歯科医院、薬局、事業所、業者による相談コーナーや、福祉用具の展示も行われました

認知症サポーターステップアップ研修会

主催事業

平成28年3月6日　南小国町きよらホール

認知症の人や家族を見守るサポーターの為のステップアップ研修会を開催しました。

この研修会では小国郷医療福祉あんしんネットワークに参加している事業所の職員や民生委員が協力して「劇団ひとよこい」として地域で支える認知症をテーマに劇を行ない、その後の講演では熊本県認知症介護指導者で、甲佐町にある「グループホームせせらぎ」の施設長の高橋恵子氏をお招きし、「地域で支える認知症ケア」と題して講演いただきました。

講演後は小国郷で認知症を支えている方々の意見交換会を行いました。

研修会終了後に、参加者の方に付箋紙で自分が認知症の方を支えるためにできることを書いていただき、それを模造紙に描いた幹に貼って、1本の大きな木で認知症の人とその家族を地域で支えるイメージを作りました。

「高校生によるファッションショー」に地域の高齢者が参加

協力事業

平成27年9月6日　小国高校フェステバル

小国高校フェスティバルでは、毎年高校生が制作したウエディングドレスショーが行われています。平成27年度の新企画として『新たな地域との交流』と題し、地域の高齢者がショーの舞台にあがりました。

華やかな舞台に立つ機会が少なくなっている高齢者の方々も、高校生に負けじとオシャレをし、花道をさっそうと歩き、大きな拍手をもらいました。参加した人たちはみな生き生きとし素敵な笑顔でした。

この取り組みは、高齢者と若い人たちが共に過ごし、お互いを尊重しあう、「あんしんして暮らせる小国郷」を考えるきっかけにつながるものでした。

小国高校では、「生活と福祉」という授業の中で、小国郷の福祉について学んでおり、今回の取り組みを通して、小国高校が地域に存在する意味を改めて再発見できました。

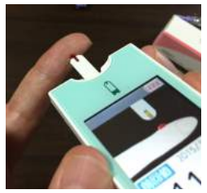
小国郷メディカルツーリズムにスタッフとして協力

協力事業

平成27年10月31日・11月1日

平成27年10月31日・11月1日の2日間、小国郷メディカルツーリズムが行われ、熊本や小国郷から、2日間で約50名の方が参加し、血糖値について学びました。

これは、小国の秋を満喫しながら、血糖について学んでもらおうというイベントで、小国公立病院の片岡医師（小国郷医療福祉あんしんネットワーク副代表）の呼びかけで集まった小国郷メディカルツーリズム実行委員会と、旅のよろこび株式会社の主催で行われました。小国郷医療福祉あんしんネットワークはスタッフや参加者としてこのイベントに公式に協力いたしました。



杖立の旅館から提供された「ブルーサークルメニュー※」の昼食など、健康志向で、しかも美味しい食事に舌鼓をうち、食事前後の血糖値を自分で測定し、その効果を実感していました。旧国鉄宮原線遊歩ウォーキングでは、ウォーキング後の血糖測定を行ったところ、ほとんどの人の血糖値は運動前よりも下がっており、運動の血糖に与える影響を実感しました。

その後、運動と食事の血糖に与える影響についてみんなで振り返りを行いました。

企画した片岡医師は「小国や熊本の多くの方々にご協力いただき、ツアーが実現しました。参加者とともに、血糖について楽しく学ぶ事ができたので、またこの様なイベントを行いたい。」と話しておりました。

※ブルーサークルメニューとは、管理栄養士の監修のもと、カロリー、塩分を調整した（カロリー600kcal未満、塩分3g未満）外食の事で、杖立温泉や黒川温泉のいくつかの旅館で提供されています。

あんしんネットワークより一言

小国郷医療福祉あんしんネットワークでは、少子高齢化社会をあんしんに過ごせる様、小国郷の土地と人のちからを最大限に活かして、ひとつのネットワークを作り、住民を支えていきます。

小国郷の住民の方々全員が、ネットワークの一部である必要があります。小国郷で最後まで自分らしい人生がおくれる様、みんなで支え合うシステムを作ることが私達の目標です。

住民の皆様のご協力をよろしくお願い致します。

事務局 TEL 0967-46-5575（小国町社協内）